

2019年度

【一般入試前期B日程 / センタープラス方式】

1限目

注意

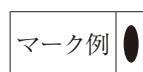
1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2. 問題冊子は1部、解答用紙は1枚です。

3. 出題科目、ページおよび選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選択方法
英語	1～10	解答科目は、選択できる科目を受験票で確認のうえ、選択しなさい。
数学Ⅰ・A	11～15	
数学Ⅰ・A・Ⅱ・B	17～20	

4. 解答は全てマークセンス方式です。マークは黒鉛筆(シャープペンシル可)で右の例のように正しくマークしてください。



5. 解答用紙には解答欄のほかに次の記入欄があります。

(1)受験番号欄

受験番号を受験番号欄の上欄に算用数字で記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。なお、受験番号欄には、一般入試前期B日程の受験番号を記入してください
(一般入試前期(センタープラス方式)の受験番号は記入しないこと)。

(2)解答科目選択欄

解答する科目を1つだけ○で囲み、さらにその下のマーク欄にマークしてください。

※受験番号および解答した科目が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

6. 記入したマークを訂正する場合は、プラスチック製消しゴムで完全に消し、改めてマークしてください(消しきずを残さないこと)。

7. 解答用紙は折り曲げたり、汚したりしてはいけません。

8. 解答用紙の※印欄はマークしてはいけません。

9. 問題冊子と解答用紙にページの落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所や汚れなどがある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

数 学 I・A・II・B

(解答番号 ~)

以下の各問い合わせの空欄に当てはまる整数を 0 ~ 9 から選び、該当する解答欄にマークせよ。
ただし、分数で解答する場合は既約分数で答えよ。また、根号の中は最小の整数で答えよ。

I 関数 $f(x)$ は、関数 $3x^2 - 6x - 9$ の原始関数であり、 $f(2) = -20$ を満たす。 $y = f(x)$ のグラフを C とし、 C 上の点 $(2, -20)$ における C の接線を l とする。このとき、以下の問い合わせに答えよ。

- (1) $f(x) = x^3 - \boxed{(1)} x^2 - \boxed{(2)} x + \boxed{(3)}$ である。
- (2) $f(x)$ は、 $x = -\boxed{(4)}$ のとき極大値 $\boxed{(5)}$ をとり、 $x = \boxed{(6)}$ のとき極小値 $-\boxed{(7)} \boxed{(8)}$ をとる。
- (3) l の方程式は $y = -\boxed{(9)} x - \boxed{(10)}$ であり、 C と l の共有点のうち接点と異なる共有点の座標は $(-\boxed{(11)}, \boxed{(12)})$ である。
- (4) 3 点 $(-\boxed{(4)}, \boxed{(5)}), (\boxed{(6)}, -\boxed{(7)} \boxed{(8)}), (2, -20)$ を通る放物線を D とする。このとき、 D と l で囲まれた図形の面積は $\frac{\boxed{(13)}}{\boxed{(14)}}$ である。

(20 点)

II 以下の問いに答えよ。

(1) 次の式の値を求めよ。

(a) $\frac{\log_4 9}{\log_2 3} = \boxed{(15)}$

(b) $(\log_2 3 + \log_4 9)(\log_3 4 + \log_9 16) = \boxed{(16)}$

(c) $(\log_2 3 + \log_4 9)(\log_3 4 + \log_9 16)(\log_4 5 + \log_{16} 25)$

$\times (\log_5 6 + \log_{25} 36)(\log_6 7 + \log_{36} 49)(\log_7 8 + \log_{49} 64) = \boxed{(17)} \boxed{(18)} \boxed{(19)}$

(2) 数列 $\{a_n\}$ は、 $a_1 = 1$ であり、 $n \geq 2$ のとき $a_n = a_{n-1} \log_n(n+1)^2$ を満たすとする。このとき、 $a_n = \boxed{(20)}^{n-\boxed{(21)}} \log_2(n+\boxed{(22)})$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) である。さらに、 a_n が 1000 より大きい整数となる最小の n は $\boxed{(23)} \boxed{(24)}$ であり、 $n = \boxed{(23)} \boxed{(24)}$ のとき $\log_2 a_n = \boxed{(25)} \boxed{(26)}$ である。

(20 点)

III 1から6までの整数が1つずつ書かれている6枚のカードがある。これらのカードがA, B, Cの3人に2枚ずつ配布される。配布の順序はA, B, C, A, B, Cの順で、無作為に1枚ずつ配布される。配布終了後に、3人それぞれに配布された2枚のカードに書かれた数字の合計を求める。このとき、以下の問いに答えよ。

(1) Aに配布される1枚目のカードが6である確率は $\frac{(27)}{(28)}$ である。

(2) Cに配布される2枚目のカードが6である確率は $\frac{(29)}{(30)}$ である。

(3) Aに配布されるカードが、1枚目が6, 2枚目が1である確率は $\frac{(31)}{(32) \quad (33)}$ である。また、配布終了後にAの合計が7となる確率は $\frac{(34)}{(35)}$ である。

(4) 配布終了後に、Aの合計が11, Bの合計が7, Cの合計が3となる確率は $\frac{(36)}{(37) \quad (38)}$ である。

(5) 配布終了後に、Aの合計、Bの合計、Cの合計が、すべて7となる確率は $\frac{(39)}{(40) \quad (41)}$ である。

(6) Aに配布される1枚目のカードが6であるという条件のもとで、配布終了後にBの合計またはCの合計がAの合計より大きくなる条件付き確率は $\frac{(42)}{(43)}$ である。

(30点)

IV

$OA = 6$, $OB = 5$, $AB = 4$ の $\triangle OAB$ がある。 $\triangle OAB$ の外心を G とし、辺 OA の中点を M とし、辺 OB の中点を N とする。このとき、以下の問い合わせよ。

(1) $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} = \frac{(44) \quad (45)}{(46)}$ である。

(2) \overrightarrow{GM} と \overrightarrow{OA} が直交することより、 $\overrightarrow{OG} \cdot \overrightarrow{OA} = \frac{(47) \quad (48)}{(49)}$ である。

また、 \overrightarrow{GN} と \overrightarrow{OB} が直交することより、 $\overrightarrow{OG} \cdot \overrightarrow{OB} = \frac{(49) \quad (50)}{(51)}$ である。

(3) $\overrightarrow{OG} = \frac{(52)}{(53)} \overrightarrow{OA} + \frac{(54)}{\frac{(55) \quad (56)}{(51)}} \overrightarrow{OB}$ である。

(4) $\triangle OAB$ の垂心を H とするとき、 $\overrightarrow{AH} \cdot \overrightarrow{OB} = \frac{(57)}{(58)}$ であり、

$\overrightarrow{OH} = \frac{(58)}{(59)} \overrightarrow{OA} + \frac{(60) \quad (61)}{\frac{(62) \quad (63)}{(51)}} \overrightarrow{OB}$ である。さらに、線分 GH を $1 : 2$ に内分

する点を P とするとき、 $\overrightarrow{OP} = \frac{(64)}{(65)} \overrightarrow{OA} + \frac{(66)}{\frac{(67)}{(51)}} \overrightarrow{OB}$ である。

(30 点)

ご注意

1. 本書の一部あるいは全部について、発行者の許可を得ずに、無断で複写・転写することは禁じられています。
2. 本書の内容に誤り・誤字脱字などございましたら、ご連絡いただけすると幸いです。

2019/7/1

発行・制作:広島国際大学入試センター

連絡先:739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36

TEL: 0823-70-4500 FAX: 0823-70-4518

Mail: HIU.Nyushi@josho.ac.jp

URL: <http://www.hirokoku-u.ac.jp/>